

ECONOMY TOPICS

経済トピックス

2019.11.6

No.459



業況 BSI 2 期連続上昇、プラス圏に迫る (2019 年 7～9 月期の県内企業業況調査結果)

調査内容 2019 年 7～9 月期の県内企業の業況実績
2019 年 10～12 月期の県内企業の業況見通し

調査時期 2019 年 10 月上旬

調査対象企業 県内中堅企業 319 社

回答企業 233 社 (回収率:73.0%)

{ 製造業 53 社 建設業 45 社 卸売業 57 社
小売業 27 社 運輸業・サービス業 51 社
青森地区 81 社 津軽地区 69 社 県南地区 83 社

BSI とは

Business Survey Index の略であり、企業業況判断指標という意味である
指標の求め方は次の通り

BSI = 「業況良好企業及びやや良好企業の割合」 - 「業況不振企業及びやや不振企業の割合」

注:業況判断は前年同期との比較による

1. 2019年7～9月期の業況

(1) 業況 — 2期連続上昇、プラス圏に迫る —

2019年7～9月期の全産業「業況BSI」は前期比10.9ポイント上昇の△1.3と2期連続で上昇し、プラス圏に迫った。

業況判断の内訳をみると、業況好転とした企業の割合が同5.2ポイント増加の27.9%、業況悪化とした企業の割合は同5.7ポイント減少の29.2%となった。

産業別の「業況BSI」をみると、製造業が前期比15.5ポイント上昇の0.0となった。電子部品・デバイスや飲料で好転が広がったほか、生コンで不振の割合が減少した。

非製造業は、小売業、建設業、運輸・サービス業で好転した。小売業が同40.7ポイ

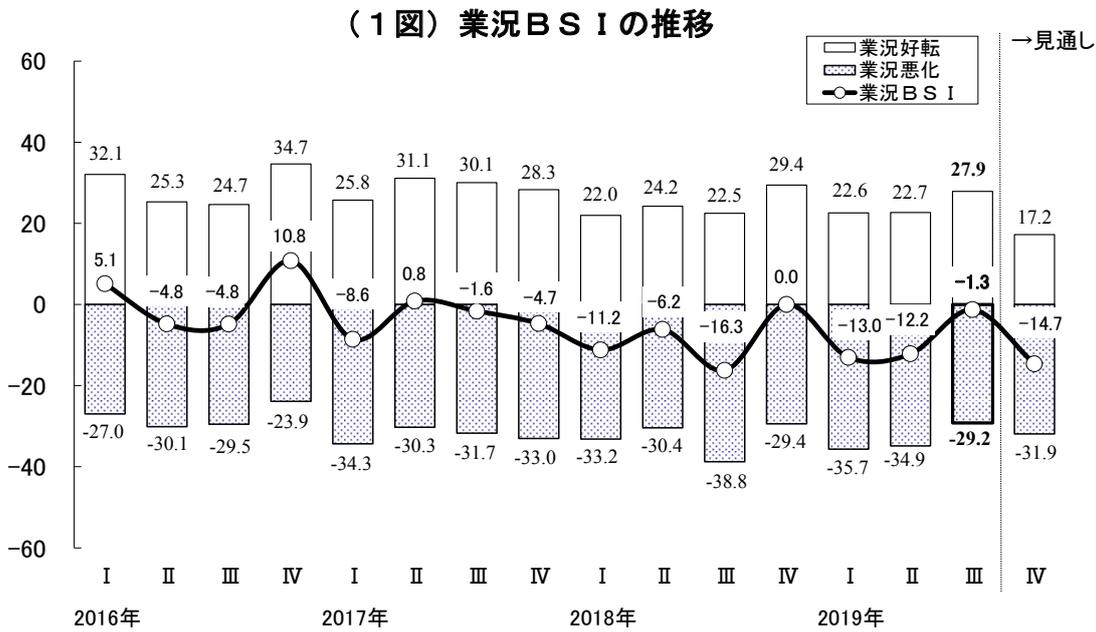
ント上昇の7.4、建設業が同9.4ポイント上昇の△13.3、運輸・サービス業が同6.2ポイント上昇の11.8となった。

一方、卸売業は前期比3.0ポイント低下の△8.8だった。

小売業は、自動車と家具で好転割合が増加した。建設業は総合工事、職別工事、設備工事の全てで好転割合が幾分増加した。運輸・サービス業は、道路貨物運送、ガス業などで好転割合が増加した。

一方、卸売業は、建築材料と機械器具などで好転割合が増加したものの、燃料、水産物で悪化がみられた。

(以上、1図、付表 参照)



(付表) 産業別業況BSIの推移

| | 製造業 | 建設業 | 卸売業 | 小売業 | 運輸・サービス | 合計 |
|-----------------|------------|--------------|-------------|------------|-------------|-------------|
| 2018年 7 - 9 月期 | -12.5 | 4.7 | -31.6 | -43.8 | -3.8 | -16.3 |
| 10 - 12 月期 | -10.7 | 2.4 | 5.7 | -17.2 | 13.7 | 0.0 |
| 2019年 1 - 3 月期 | -26.4 | 4.8 | -20.8 | -14.7 | -4.2 | -13.0 |
| 4 - 6 月期 | -15.5 | -22.7 | -5.8 | -33.3 | 5.6 | -12.2 |
| 7 - 9 月期 | 0.0 | -13.3 | -8.8 | 7.4 | 11.8 | -1.3 |
| 来期見通し | -15.1 | -17.8 | -17.5 | -33.3 | 2.0 | -14.7 |

(2) 採算の状況 —「採算BSI」2期連続上昇—

2019年7～9月期の全産業「採算BSI」は2期連続で上昇し、前期比3.9ポイント上昇の△6.1となった。

採算判断の内訳をみると、採算好転とした企業の割合は同0.5ポイント増加の10.5%、一方、採算悪化とした企業の割合は同3.5ポイント減少の16.6%となった。

産業別の「採算BSI」をみると、製造業は前期比2.7ポイント低下の△13.2となった。食料品などで悪化がみられた。

非製造業は、小売業、建設業で好転した。小売業が前期比39.2ポイント上昇の18.5、建設業が同7.2ポイント上昇の△11.4となっ

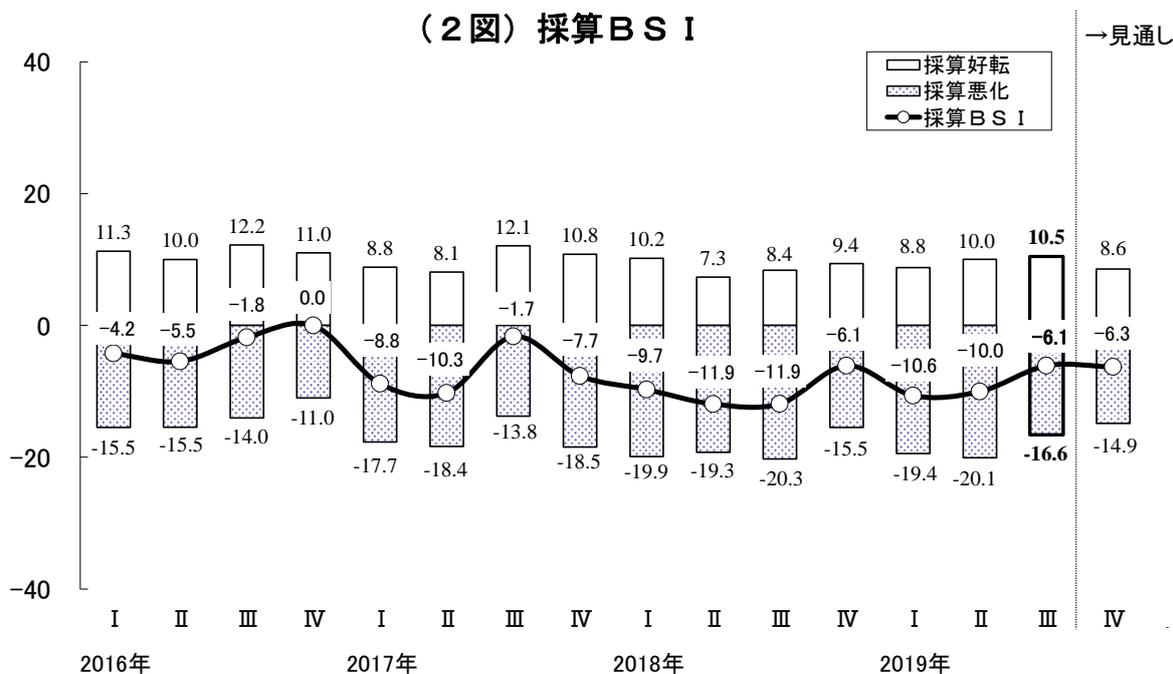
た。

一方、卸売業、運輸・サービス業は悪化した。卸売業が同5.0ポイント低下の△7.0、運輸・サービス業が同2.2ポイント低下の△6.3となった。

建設業は、総合工事で悪化割合が増加したものの、設備工事で好転割合が増加した。小売業は自動車、衣料品、事務機などで好転割合が増加した。

一方、運輸・サービス業は、宿泊、レンタカーで悪化割合が増加した。卸売業は機械器具で好転割合が減少した。

(以上2図、付表参照)



(付表) 産業別採算BSIの推移

| | 製造業 | 建設業 | 卸売業 | 小売業 | 運輸・サービス | 合計 |
|----------------|-------|-------|-------|-------|---------|-------|
| 2018年 7 - 9 月期 | -16.1 | 0.0 | -14.5 | -24.1 | -6.5 | -11.9 |
| 10 - 12 月期 | -18.9 | 5.3 | -2.0 | -7.7 | -4.3 | -6.1 |
| 2019年 1 - 3 月期 | -21.2 | -10.0 | -4.0 | -18.2 | 0.0 | -10.6 |
| 4 - 6 月期 | -10.5 | -18.6 | -2.0 | -20.7 | -4.1 | -10.0 |
| 7 - 9 月期 | -13.2 | -11.4 | -7.0 | 18.5 | -6.3 | -6.1 |
| 来期見通し | -9.4 | -9.1 | 0.0 | 0.0 | -11.1 | -6.3 |

(3) 生産高・操業度の状況 —「生産高 BSI」、「操業度 BSI」とも 2 期ぶり上昇—

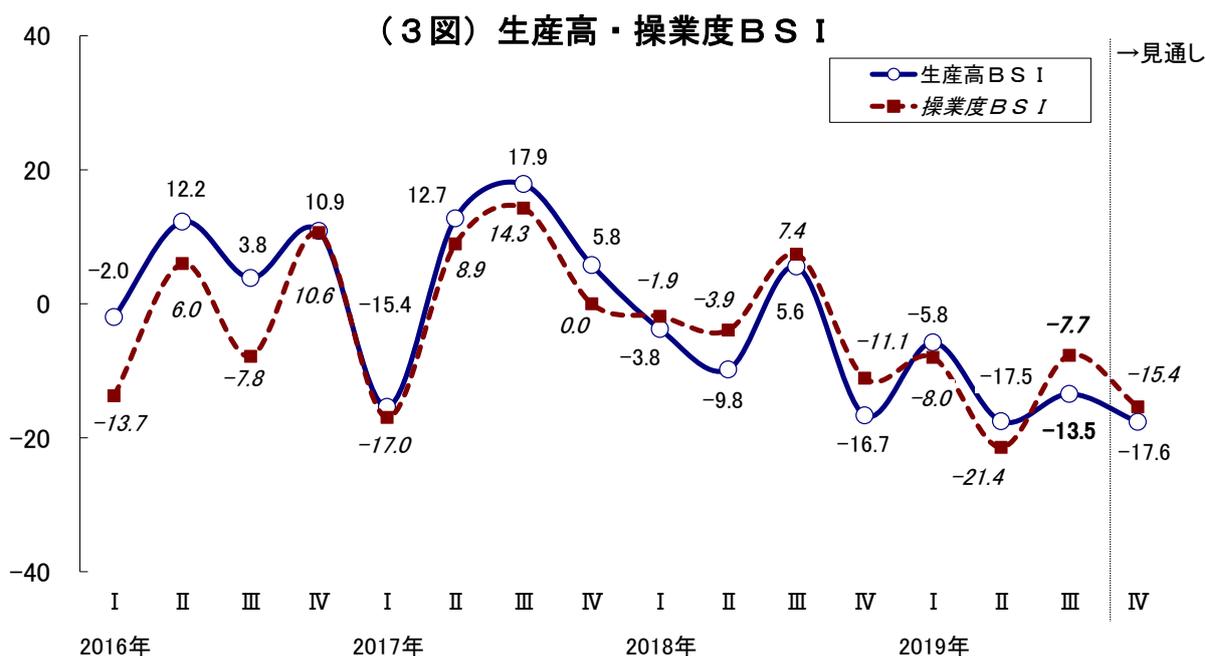
2019 年 7～9 月期の製造業の「生産高 BSI」は前期比 4.0 ポイント上昇の△13.5 と、2 期ぶりに上昇した。

「操業度 BSI」は同 13.7 ポイント上昇の△7.7 と、2 期ぶりに上昇した。

電子部品・デバイスで増産となったほか、稼働率も上昇した。

来期は「生産高 BSI」が当期比 4.1 ポイント低下の△17.6、「操業度 BSI」が同 7.7 ポイント低下の△15.4 となる見通しである。

(以上、3 図 参照)



(4) 受注高の状況 —「受注高 BSI」2 期ぶり上昇—

2019 年 7~9 月期の建設業の「受注高 BSI」は前期比 29.7 ポイント大幅上昇の $\Delta 8.9$ となり 2 期ぶりに上昇した。

内訳をみると、受注増加とした企業の割合が同 22.0 ポイント増加の 31.1%、一方、受注減少とした企業の割合は同 7.7 ポイント減少の 40.0%となった。

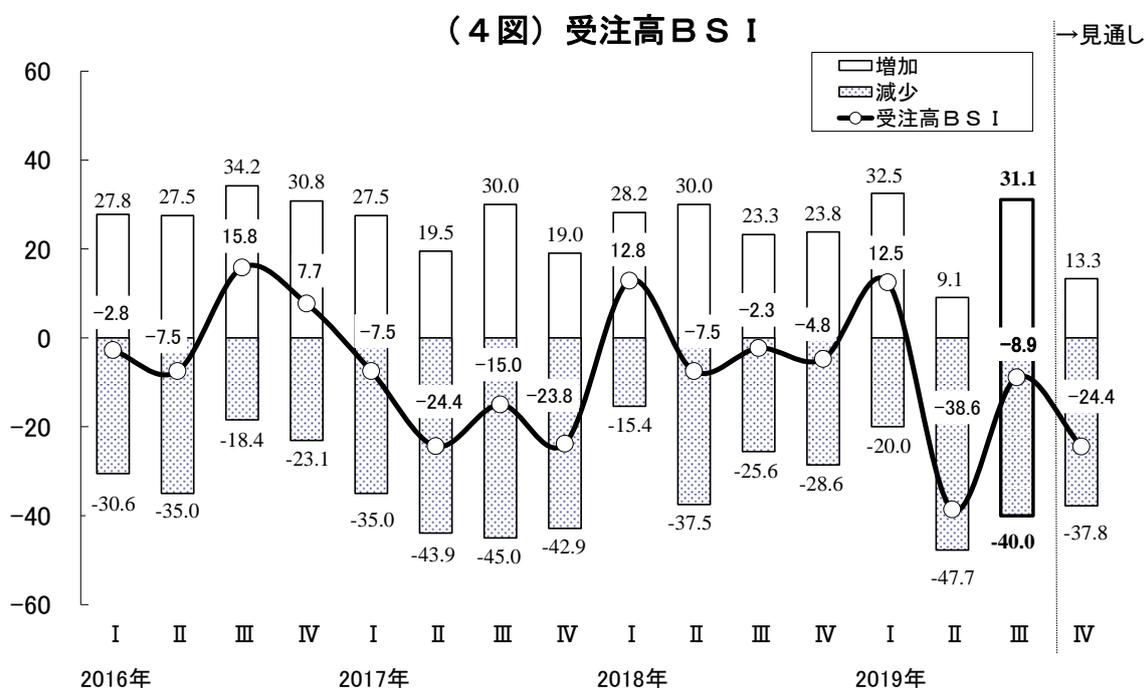
当期は、総合工事、職別工事、設備工事

の全てで受注増加の割合が広がった。

来期の「受注高 BSI」は当期比 15.5 ポイント低下の $\Delta 24.4$ となる見通しである。

内訳をみると、受注増加とする割合が当期比 17.8 ポイント減少の 13.3%、受注減少を見込む割合が同 2.2 ポイント減少の 37.8%となっている。

(以上、4 図 参照)



(5) 売上高・出荷高の状況－「売上高BSI」、「出荷高BSI」とも2期連続上昇－

2019年7～9月期の「売上高BSI」は、前期比3.6ポイント上昇の△0.8となり、2期連続で上昇した。

産業別の「売上高BSI」をみると、小売業が前期比26.3ポイント上昇の△3.7、卸売業が同0.2ポイント上昇の△3.6となった。一方、運輸・サービス業は同5.2ポイント低下の4.1となった。

小売業は、衣料品、事務機、燃料、家電などで増加したほか、自動車で減少割合が低下した。卸売業は、飲食料品、建築材料の増加がみられた。一方、運輸・サービス業は、鉄道、港湾運送などで減少がみられた。

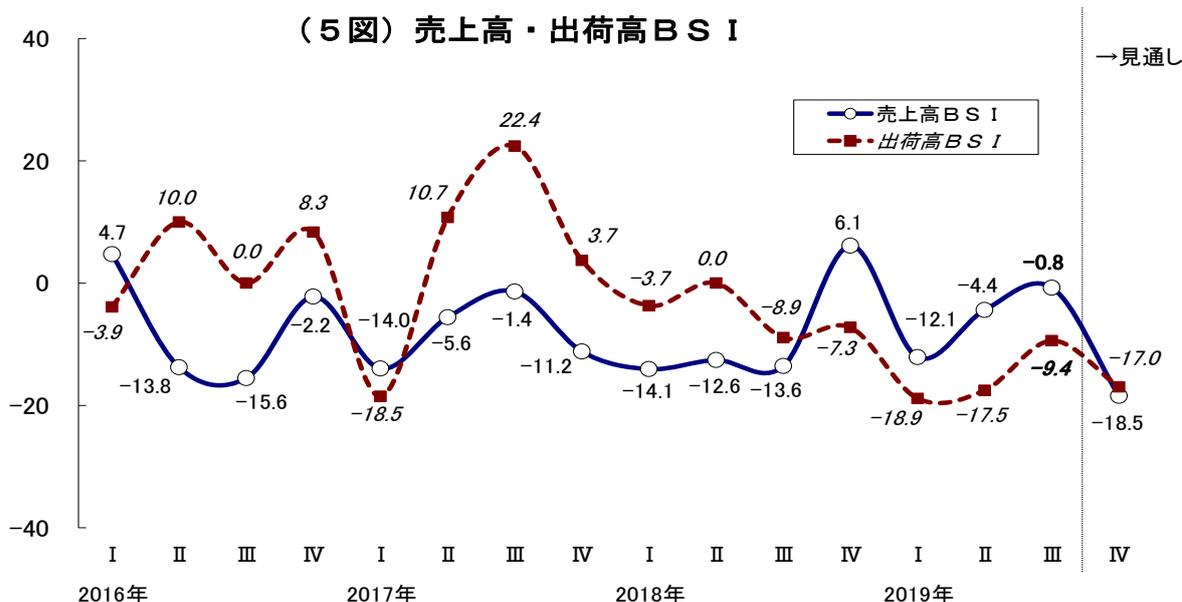
なお、来期の「売上高BSI」は、全体では

当期比17.7ポイント低下の△18.5となる見通しである。小売業は、スーパー、自動車、燃料、家電で減少が見込まれる。卸売業は、建築材料、機械器具で減少が見込まれる。運輸・サービス業は、宿泊で増加割合の低下が見込まれる。

2019年7～9月期の「出荷高BSI」は前期比8.1ポイント上昇の△9.4と2期連続上昇した。電子部品・デバイスで、出荷増加が大勢となった。

来期の「出荷高BSI」は、当期比7.6ポイント低下の△17.0となる見通しである。飲料、パルプ・紙、電子部品・デバイス造船で減少が見込まれる。

(以上、5図、付表 参照)



(付表) 売上高・出荷高BSIの推移

| | 出荷高BSI | 売上高BSI | | | |
|-----------------|-------------|-------------|-------------|------------|-------------|
| | | 製造業 | 卸売業 | 小売業 | 運輸・サービス |
| 2018年 7 - 9 月期 | -8.9 | -26.3 | -21.9 | 5.9 | -13.6 |
| 10 - 12 月期 | -7.3 | 3.8 | 0.0 | 12.0 | 6.1 |
| 2019年 1 - 3 月期 | -18.9 | -21.2 | -24.2 | 6.4 | -12.1 |
| 4 - 6 月期 | -17.5 | -3.8 | -30.0 | 9.3 | -4.4 |
| 7 - 9 月期 | -9.4 | -3.6 | -3.7 | 4.1 | -0.8 |
| 来期見通し | -17.0 | -18.2 | -48.1 | -2.1 | -18.5 |

(6) 価格の状況—「仕入単価 BSI」と「販売単価 BSI」の乖離幅、4 期ぶり拡大—

2019 年 7～9 月期の「仕入単価 BSI」は前期比 3.9 ポイント上昇の 33.7 となり、4 期ぶりに上昇した。

産業別にみると、製造業が同 10.5 ポイント上昇の 39.6、非製造業は同 1.3 ポイント上昇の 31.4 となった。

製造業は、飲料、化学、生コン、金属製品、造船などの業種で上昇がみられた。

非製造業は、建設業が前期比 5.5 ポイント上昇の 32.5、小売業が同 4.7 ポイント上昇の 26.9 となった。一方、卸売業は同 4.0 ポイント低下の 32.7 となった。

建設業は職別工事や設備工事で上昇割合が増加した。小売業は、衣料品、飲食料品、自動車で上昇割合が増加した。一方、卸売業は燃料、水産物、福祉用具で前期比横ばいとなり、全体の上昇割合が低下した。

2019 年 7～9 月期の「販売単価 BSI」は前期比 0.4 ポイント低下の 6.8 と 2 期連続で低下した。

産業別にみると、製造業が同 4.2 ポイント

上昇の 11.3、非製造業は同 1.8 ポイント低下の 5.4 となった。

製造業は、鉄鋼などで販売単価の低下がみられた。

非製造業は、卸売業が前期比 9.1 ポイント低下の 8.9、運輸・サービス業が同 3.3 ポイント低下の 16.7 となった。一方、建設業は同 5.7 ポイント上昇の△5.4、小売業は同 2.6 ポイント上昇の△7.4 となった。

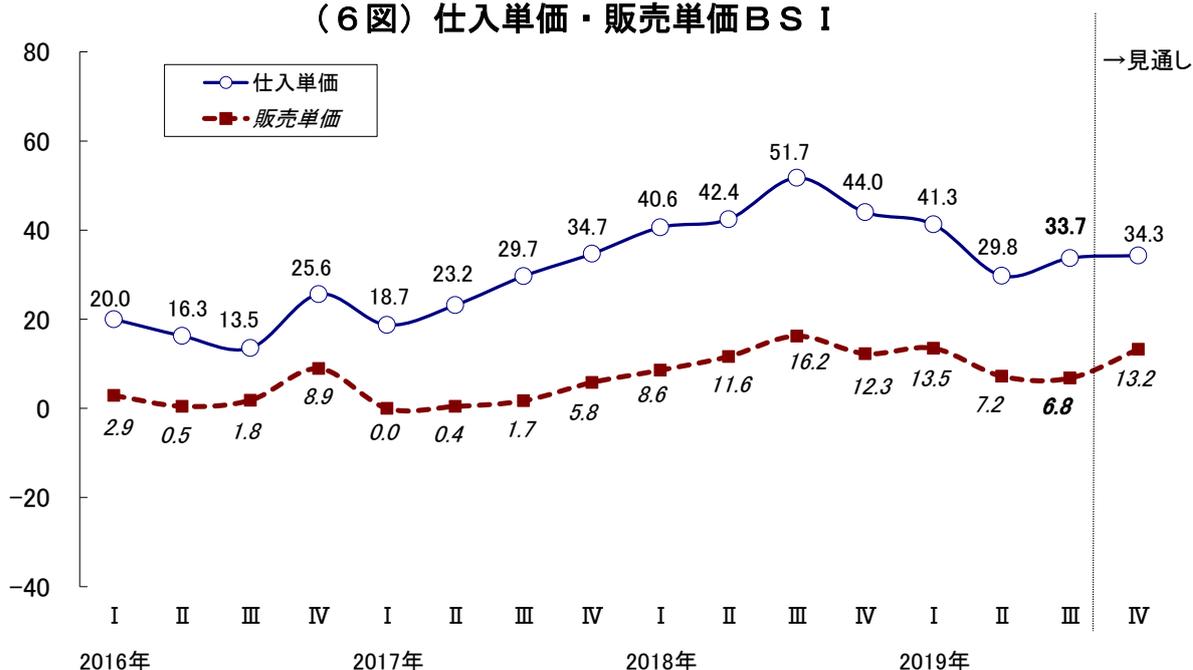
卸売業は、燃料、水産物で上昇割合が低下した。建設業は、職別工事、設備工事で低下割合が幾分増加した。運輸・サービス業は、クレジット、不動産賃貸、自動車整備で上昇から横ばいとなった。小売業は、飲食料品で低下がみられた。

当期は、「仕入単価 BSI」と「販売単価 BSI」との乖離幅が 4 期ぶりに拡大した。

なお、来期については、「仕入単価 BSI」が当期比 0.6 ポイント上昇の 34.3、「販売単価 BSI」が同 6.4 ポイント上昇の 13.2 となり、両単価の乖離は縮小する見通しである。

(以上、6 図、付表 参照)

(6 図) 仕入単価・販売単価 BSI



(付表) 仕入単価BSIの推移 (上昇-低下)

| | 製造業 | | | | 非製造業 | 仕入単価 BSI |
|-----------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| | | 建設業 | 卸売業 | 小売業 | | |
| 2018年 7 - 9 月期 | 55.4 | 43.2 | 58.2 | 42.3 | 50.0 | 51.7 |
| 10 - 12 月期 | 51.8 | 39.5 | 44.2 | 34.5 | 40.3 | 44.0 |
| 2019年 1 - 3 月期 | 50.9 | 38.9 | 37.3 | 34.4 | 37.0 | 41.3 |
| 4 - 6 月期 | 29.1 | 27.0 | 36.7 | 22.2 | 30.1 | 29.8 |
| 7 - 9 月期 | 39.6 | 32.5 | 32.7 | 26.9 | 31.4 | 33.7 |
| 来期見通し | 35.8 | 37.5 | 36.4 | 19.2 | 33.1 | 34.3 |

(付表) 販売単価BSIの推移 (上昇-低下)

| | 製造業 | | | | 運輸・ サービス | 非製造業 | 販売単価 BSI |
|-----------------|-------------|-------------|------------|-------------|-------------|------------|-------------|
| | | 建設業 | 卸売業 | 小売業 | | | |
| 2018年 7 - 9 月期 | 16.1 | -2.8 | 25.0 | 21.9 | 16.7 | 16.3 | 16.2 |
| 10 - 12 月期 | 14.5 | -2.6 | 26.9 | 17.9 | 2.1 | 11.5 | 12.3 |
| 2019年 1 - 3 月期 | 7.7 | 3.0 | 19.2 | 21.2 | 15.6 | 15.3 | 13.5 |
| 4 - 6 月期 | 7.1 | -11.1 | 18.0 | -10.0 | 20.0 | 7.2 | 7.2 |
| 7 - 9 月期 | 11.3 | -5.4 | 8.9 | -7.4 | 16.7 | 5.4 | 6.8 |
| 来期見通し | 24.5 | -2.7 | 23.6 | -14.8 | 17.0 | 9.6 | 13.2 |

(7) 在庫投資・在庫水準の状況－製造業積み増し、非製造業手控え－

2019年7～9月期の「在庫投資BSI」は、製造業が前期比19.3ポイント上昇の0.0、非製造業は同10.7ポイント低下の△2.7となった。

製造業は、パルプ・紙、印刷、鉄鋼、金属製品、一般機械、電子部品・デバイスなどで積み増しの動きがみられた。

非製造業をみると、卸売業では飲食料品、機械器具などで、小売業では、衣料品などで手控えの動きがみられた。

来期の「在庫投資BSI」は、製造業が当期比9.4ポイント低下の△9.4、非製造業は同5.3ポイント低下の△8.0と、共に手控えの動きがみられる。

2019年7～9月期の「製品・商品在庫水準BSI」は、製造業が前期比0.4ポイント上昇の3.8、卸・小売業は同14.4ポイント低下の9.6となった。

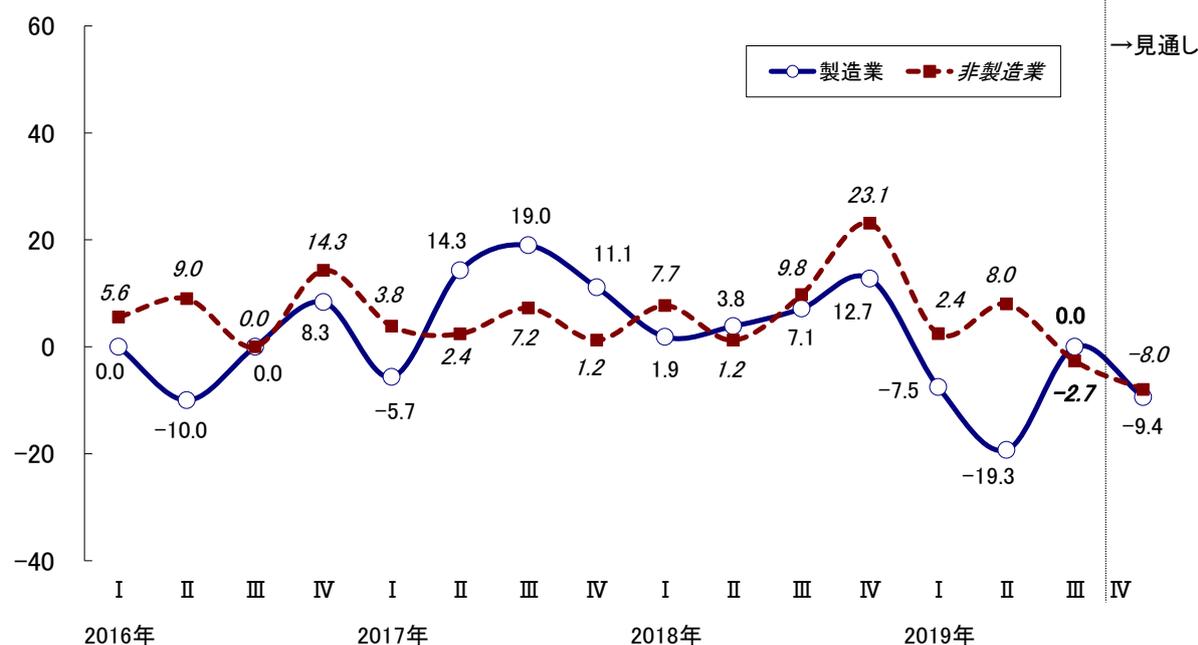
製造業では、パルプ・紙で上昇がみられた。

非製造業をみると、卸売業では、食料品、機械器具などで低下がみられた。小売業では、書籍が過剰から適正在庫となった。

来期は、製品では食料品で、商品では飲食料品などで手控えの動きがみられるものの、ほぼ適正水準が見込まれる。

(以上、7図、付表 参照)

(7図) 在庫投資BSI (製造業、非製造業)



(付表) 在庫関連BSIの推移

| | 在庫投資BSI | | 製品・商品在庫水準BSI | |
|----------------|---------|------|--------------|-------|
| | 製造業 | 非製造業 | 製造業 | 卸・小売業 |
| 2018年 7 - 9 月期 | 7.1 | 9.8 | -8.9 | 3.7 |
| 10 - 12 月期 | 12.7 | 23.1 | -1.9 | 13.5 |
| 2019年 1 - 3 月期 | -7.5 | 2.4 | -5.8 | 17.7 |
| 4 - 6 月期 | -19.3 | 8.0 | 3.4 | 24.0 |
| 7 - 9 月期 | 0.0 | -2.7 | 3.8 | 9.6 |
| 来期見通し | -9.4 | -8.0 | 1.9 | 1.4 |

(8) 設備投資の動向 —製造業、非製造業とも上昇—

2019年7～9月期の「設備投資BSI」は、製造業が前期比7.6ポイント上昇の5.8、非製造業は同4.2ポイント上昇の△1.8となった。

製造業では、食料品、衣服、木材、化学、金属製品、造船などで、非製造業では、建設業で職別工事、設備工事など、卸売業で飲食料品、建築材料など、小売業で、自動車、衣服、身の回り品などがそれぞれ上昇した。

製造業は、飲料でりんご加工施設新設や貸店舗取得、鉄鋼で更新、精密機械で研削盤増設・建物改修、操船で中国人宿舍建設などがみられた。

非製造業では、建設業で、機械装置、資

材などがみられた。

卸売業では、飲食料品で倉庫建築、機械器具で建設関連レンタル建材などがみられた。

小売業では、スーパーで新レジ導入や機器更新、自動車で土地購入などがみられた。

運輸・サービス業では、道路貨物運送で土地、建物、トラクタヘッド、ガスでガス管入替更新、機械装置等がみられた。

来期の「設備投資BSI」は、製造業が当期比21.2ポイント低下の△15.4、非製造業が同2.4ポイント低下の△4.2が見込まれている。

(以上、8図 参照)

(8図) 設備投資BSI (製造業、非製造業)

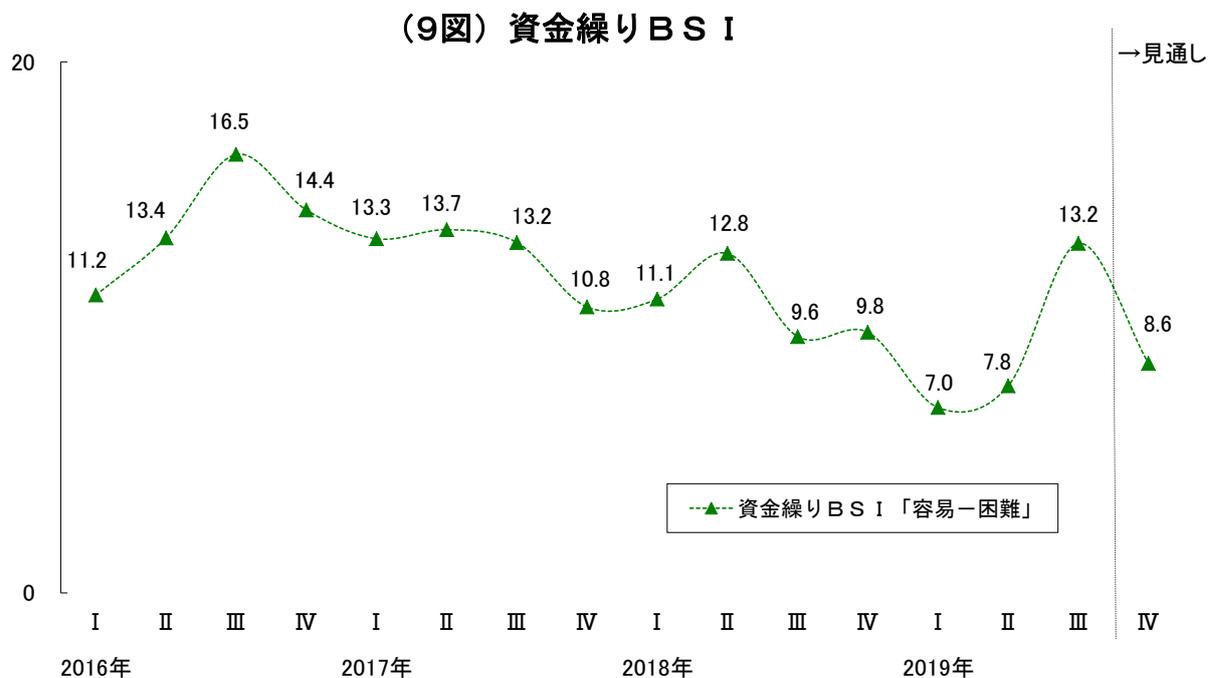


(9) 企業金融の動向 —資金繰りの容易さ上昇—

2019年7～9月期の「資金繰りBSI」は前期比5.4ポイント上昇の13.2となり、手元資金の資金繰りの容易さが上昇した。

来期は当期比4.6ポイント低下の8.6となる見通しであるが、全体にはほぼ適正範囲内での動きが見込まれている。

(以上、9図、付表 参照)



(付表) 資金繰りBSIの推移

| | 資金繰りBSI (容易-困難) |
|-----------------|--------------------|
| 2018年 7 - 9 月期 | 9.6 |
| 10 - 12 月期 | 9.8 |
| 2019年 1 - 3 月期 | 7.0 |
| 4 - 6 月期 | 7.8 |
| 7 - 9 月期 | 13.2 |
| 来期見通し | 8.6 |

(10) 地区別の状況 —「業況BSI」津軽、県南、青森の各地区上昇—

・青森地区

「業況BSI」が前期比5.4ポイント上昇の△4.9となった。

そのほか「生産高BSI」が同1.2ポイント低下の△18.8、「出荷高BSI」が同5.5ポイント上昇の△6.3、「売上高BSI」が同0.5ポイント上昇の4.1、「受注高BSI」が同9.6ポイント低下の△42.9、「設備投資BSI」が同14.0ポイント上昇の10.3などとなった。

・津軽地区

「業況BSI」が前期比14.5ポイント上昇の△7.2となった。

そのほか、「生産高BSI」が同5.4ポイント上昇の△10.0、「出荷高BSI」が同15.4

ポイント上昇の0.0と大幅に上昇、「売上高BSI」が同5.4ポイント上昇の△12.5、

「受注高BSI」は同43.4ポイント上昇の5.9と大幅に上昇、「設備投資BSI」が同4.6ポイント上昇の△4.8、「採算BSI」が同8.7ポイント上昇の△11.9などとなった。

・県南地区

「業況BSI」が前期比13.3ポイント上昇の7.2となった。

そのほか「生産高BSI」が同7.0ポイント上昇の△11.5、「出荷高BSI」が同6.8ポイント上昇の△15.4、「売上高BSI」が同7.1ポイント上昇の4.7、「受注高BSI」は同53.3ポイント上昇の7.1と大幅に上昇した。(以上、1表参照)

(1表) 地域別BSIの推移

| | 業況BSI | | | 生産高BSI | | | 出荷高BSI | | |
|----------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|-------------|--------------|--------------|
| | 青森 | 津軽 | 県南 | 青森 | 津軽 | 県南 | 青森 | 津軽 | 県南 |
| 2018年 7 - 9 月期 | -18.0 | -29.6 | -2.5 | 0.0 | -53.8 | 38.5 | -12.5 | -78.6 | 30.8 |
| 10 - 12 月期 | 3.5 | -1.5 | -2.5 | -33.3 | -28.6 | 0.0 | -33.3 | -20.0 | 16.0 |
| 2019年 1 - 3 月期 | -8.3 | -24.6 | -8.6 | -6.7 | -9.1 | -3.8 | -6.7 | -50.0 | -11.5 |
| 4 - 6 月期 | -10.3 | -21.7 | -6.1 | -17.6 | -15.4 | -18.5 | -11.8 | -15.4 | -22.2 |
| 7 - 9 月期 | -4.9 | -7.2 | 7.2 | -18.8 | -10.0 | -11.5 | -6.3 | 0.0 | -15.4 |
| 来期見通し | -14.8 | -19.1 | -10.8 | 0.0 | -30.0 | -23.1 | 0.0 | -27.3 | -23.1 |
| | 売上高BSI | | | 受注高BSI | | | 在庫投資BSI | | |
| | 青森 | 津軽 | 県南 | 青森 | 津軽 | 県南 | 青森 | 津軽 | 県南 |
| 2018年 7 - 9 月期 | -19.0 | -15.0 | -4.8 | 28.6 | -23.5 | -8.3 | 8.9 | 14.7 | 4.2 |
| 10 - 12 月期 | 10.5 | 8.6 | -2.6 | 8.3 | -37.5 | 21.4 | 11.1 | 34.4 | 17.0 |
| 2019年 1 - 3 月期 | -7.3 | -29.7 | -2.5 | 23.1 | -13.3 | 33.3 | 7.4 | -8.8 | -6.4 |
| 4 - 6 月期 | 3.6 | -17.9 | -2.4 | -33.3 | -37.5 | -46.2 | 13.5 | -21.9 | -10.4 |
| 7 - 9 月期 | 4.1 | -12.5 | 4.7 | -42.9 | 5.9 | 7.1 | 10.6 | -18.8 | -2.0 |
| 来期見通し | -16.7 | -17.9 | -20.9 | -28.6 | -17.6 | -28.6 | 0.0 | -25.0 | -6.1 |
| | 設備投資BSI | | | 採算BSI | | | 資金繰りBSI | | |
| | 青森 | 津軽 | 県南 | 青森 | 津軽 | 県南 | 青森 | 津軽 | 県南 |
| 2018年 7 - 9 月期 | 3.6 | -2.9 | 7.8 | -8.3 | -22.4 | -6.6 | 8.2 | 0.0 | 19.5 |
| 10 - 12 月期 | 2.5 | 6.5 | -3.9 | -6.3 | -14.0 | 0.0 | 8.8 | 0.0 | 17.9 |
| 2019年 1 - 3 月期 | 1.3 | -8.1 | 11.4 | -11.3 | -21.3 | -1.3 | 5.1 | -3.4 | 16.9 |
| 4 - 6 月期 | -3.7 | -9.4 | -2.5 | -8.3 | -20.6 | -3.7 | 7.1 | -4.7 | 18.3 |
| 7 - 9 月期 | 10.3 | -4.8 | -6.3 | -3.8 | -11.9 | -3.7 | 11.3 | 10.8 | 16.9 |
| 来期見通し | -3.8 | -15.0 | -3.8 | -7.6 | -4.8 | -6.3 | 8.9 | 4.9 | 11.3 |

2. 経営上の問題点

—「人員不足」が5期連続で最多—

経営上の問題点は、「人員不足」が51.5%と5期連続で最多となった。

以下は、「競争の激化」が38.5%、「人材育成・技術継承」が35.1%、「売上・受注不振」が32.5%、「設備の老朽化」が27.3%、「仕入単価上昇」が25.1%、「人件費増大」が22.1%、「収益低下」が19.5%などと続いた。

当期は、「人件費増大」、「設備の老朽化」、「人員不足」などで、前期に比べて回答比率が上昇した一方、「売上・受注不振」、「営業力不足」、「競争の激化」などでは回答比率が低下した。

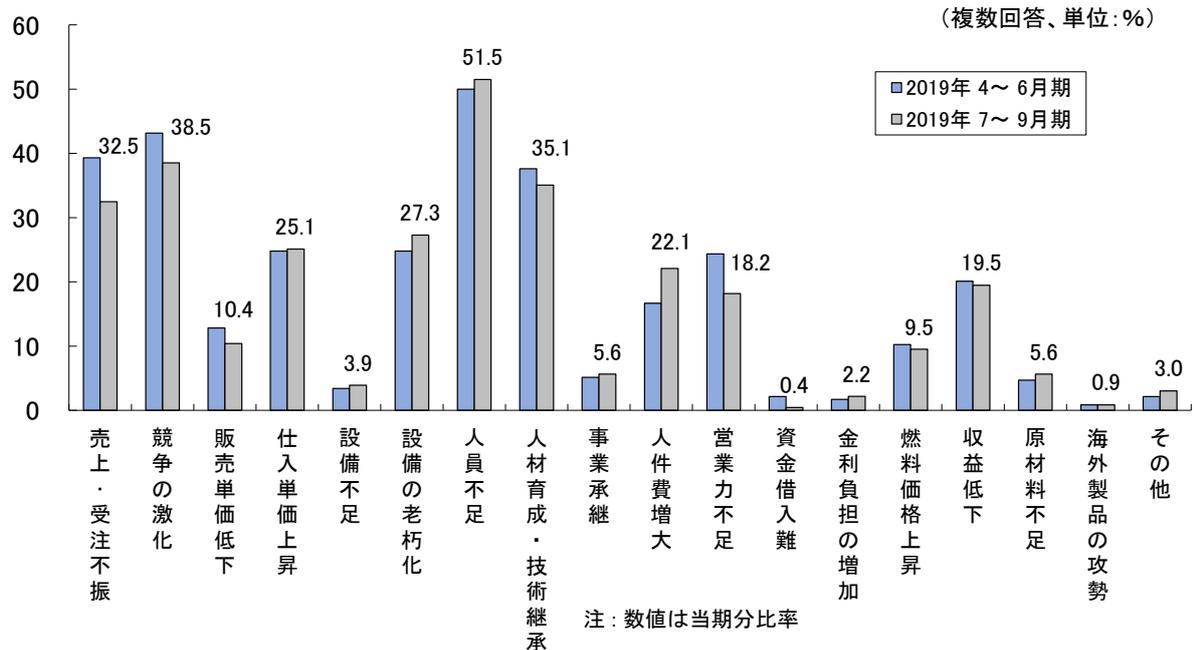
産業別に、トップにあげられた経営上の問題点は、製造業では「売上不振」、建設業、卸売業、小売業、運輸・サービス業では「人員不足」となった。

また、製造業では「仕入価格上昇」と「設備の老朽化」、建設業、卸業、小売業では「競争激化」、運輸・サービス業では「燃料上昇」や「設備の老朽化」の回答比率も高かった。

なお、運輸業の「人員不足」は、今期は62.5%と前期の66.7%より低下したものの、依然として高い数値となっている。

(以上、10図、付表 参照)

(10図) 経営上の問題点



(付表) 経営上の問題点

(複数回答、単位：%)

| | 売上・受注不振 | 競争激化 | 販売単価低下 | 仕入単価上昇 | 人員不足 | 人材育成・技術継承 | 人件費増大 | 収益低下 |
|----------------|---------|------|--------|--------|------|-----------|-------|------|
| 2018年 7 - 9 月期 | 37.7 | 37.7 | 11.3 | 35.1 | 52.7 | 37.7 | 15.9 | 18.8 |
| 10 - 12 月期 | 36.0 | 35.1 | 11.0 | 32.5 | 53.5 | 36.4 | 16.7 | 20.6 |
| 2019年 1 - 3 月期 | 34.4 | 40.5 | 11.5 | 33.9 | 48.9 | 38.8 | 20.3 | 21.6 |
| 4 - 6 月期 | 39.3 | 43.2 | 12.8 | 24.8 | 50.0 | 37.6 | 16.7 | 20.1 |
| 7 - 9 月期 | 32.5 | 38.5 | 10.4 | 25.1 | 51.5 | 35.1 | 22.1 | 19.5 |

3. 来期の見通し

－「業況BSI」大幅低下、「採算BSI」やや低下－

来期(2019年10～12月期)の「業況BSI」は、全産業ベースで当期比13.4ポイント低下の△14.7となる見通しである。

産業別では、小売業が当期比40.7ポイント低下の△33.3、製造業が同15.1ポイント低下の△15.1、運輸・サービス業が同9.8ポイント低下の2.0、卸売業が同8.7ポイント低下の△17.5、建設業が4.5ポイント低下の△17.8と見込まれる。

来期(2019年10～12月期)の「採算BSI」

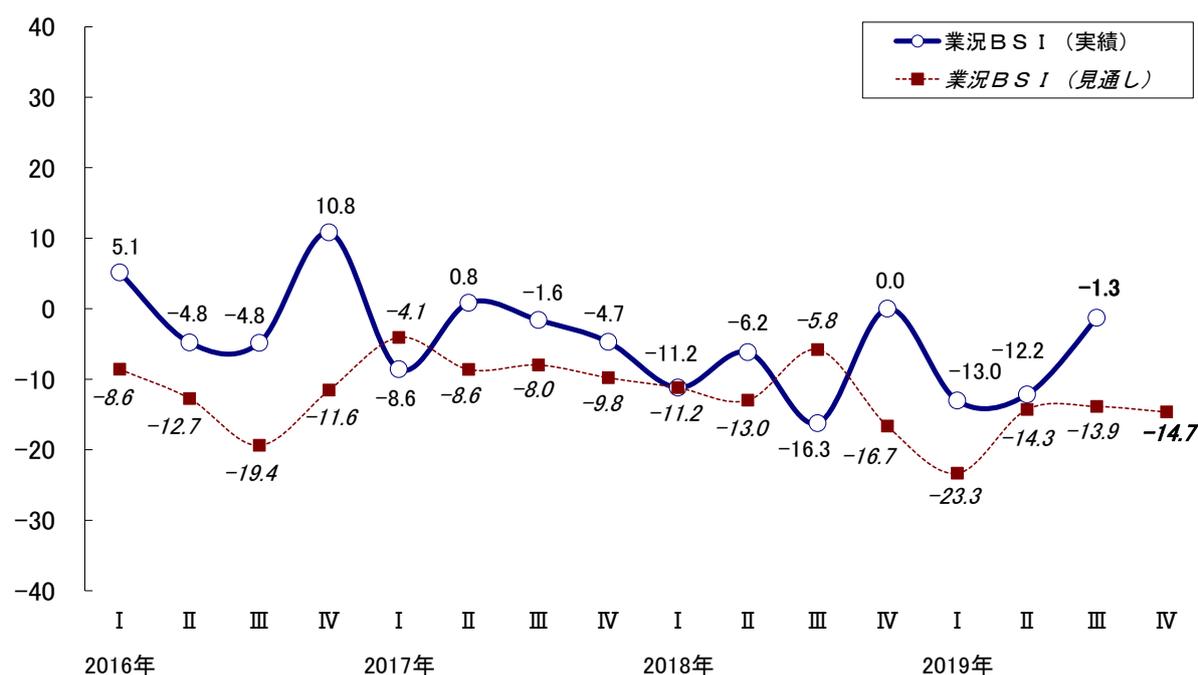
は、全産業ベースで当期比0.2ポイント低下の△6.3となる見通しである。

産業別にみると、小売業が当期比18.5ポイント低下の0.0、運輸・サービス業が同4.8ポイント低下の△11.1と見込まれる。

一方、卸売業は同7.0ポイント上昇の0.0、製造業は同3.8ポイント上昇の△9.4、建設業は同2.3ポイント上昇の△9.1と見込まれる。

(以上、11図、付表 参照)

(11図) 業況BSIの見通しと実績の推移



(付表) 業況BSI、採算BSIの来期見通し

| | | 製造業 | 建設業 | 卸売業 | 小売業 | 運輸・サービス | 合計 |
|-------|------------|-------|-------|-------|-------|---------|-------|
| 業況BSI | 2019年7～9月期 | 0.0 | -13.3 | -8.8 | 7.4 | 11.8 | -1.3 |
| | 来期見通し | -15.1 | -17.8 | -17.5 | -33.3 | 2.0 | -14.7 |
| 採算BSI | 2019年7～9月期 | -13.2 | -11.4 | -7.0 | 18.5 | -6.3 | -6.1 |
| | 来期見通し | -9.4 | -9.1 | 0.0 | 0.0 | -11.1 | -6.3 |